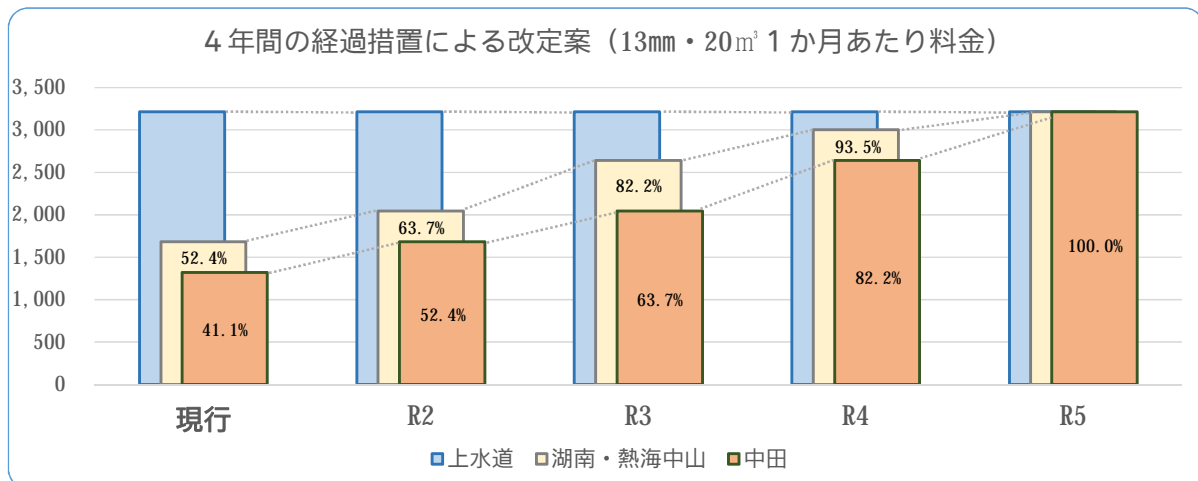


簡易水道料金改定案の修正について

2019.6.5
郡山市環境政策課

第4回 審議会概要

料金改定試案（1か月あたり標準世帯料金）



区分	【現行】	【1段階】	【2段階】	【3段階】	【最終】
湖南・熱海中山	現行料金 1か月・13mm 20m ³	現行×1.25倍 1か月・13mm 20m ³	現行×1.5倍 1か月・13mm 20m ³	現行×1.75倍 1か月・13mm 20m ³	上水道水準 1か月・13mm 20m ³
	準備料金 530	準備料金 660	準備料金 800	準備料金 930	準備料金 1,060
	水量 1,000	水量 1,200	水量 1,600	水量 1,800	水量 1,860
	消費税10% 153	消費税10% 186	消費税10% 240	消費税10% 273	消費税10% 292
	計 1,683	計 2,046	計 2,640	計 3,003	計 3,212
中田	【現行】 現行料金 1か月・13mm 20m ³	【1段階】 湖南・熱海の現行水準 1か月・13mm 20m ³	【2段階】 湖南熱海現行×1.25 1か月・13mm 20m ³	【3段階】 湖南熱海現行×1.5 1か月・13mm 20m ³	【最終】 上水道水準 1か月・13mm 20m ³
	準備料金 450	準備料金 530	準備料金 660	準備料金 800	準備料金 1,060
	水量 750	水量 1,000	水量 1,200	水量 1,600	水量 1,860
	消費税10% 120	消費税10% 153	消費税10% 186	消費税10% 240	消費税10% 292
	計 1,320	計 1,683	計 2,046	計 2,640	計 3,212

1

第4回 審議会概要

委員からの主な意見

- この改定率の高さは全国の例を見ても珍しい。
激変緩和といっても、毎年値上げというのはいかなものか。
- 住民の理解を得るのは難しい。これまで20年間明確に経営状況を知らされていない。
- 20年も据え置いておきながら、4年で何とかしよう、というのは非常に強引。
- もう少し料金水準を安く、あるいは激変緩和措置期間を延ばして欲しい。
- 「最低限の費用はいただきたい」という部分、地方債償還などを除いた、維持管理の費用部分は料金で賄うべきということを大前提として持つべき。慈善事業ではない。

2

料金改定案の修正

◆修正後の料金改定案の考え方

- ・ 経営戦略の考え方等を基に、経営見通しを10年間として段階的に料金改定 ⇒ 10年目に全簡易水道料金を統一
- ・ これまでの経緯、上水道との施設格差等を踏まえ、期間内（10年目）の改定の上限は上水道料金の約9割までとする（将来的には市内統一）
- ・ 利用者の負担増に配慮し、各段階において標準世帯（13mm・20m³/月）での料金改定率は30%以内とする

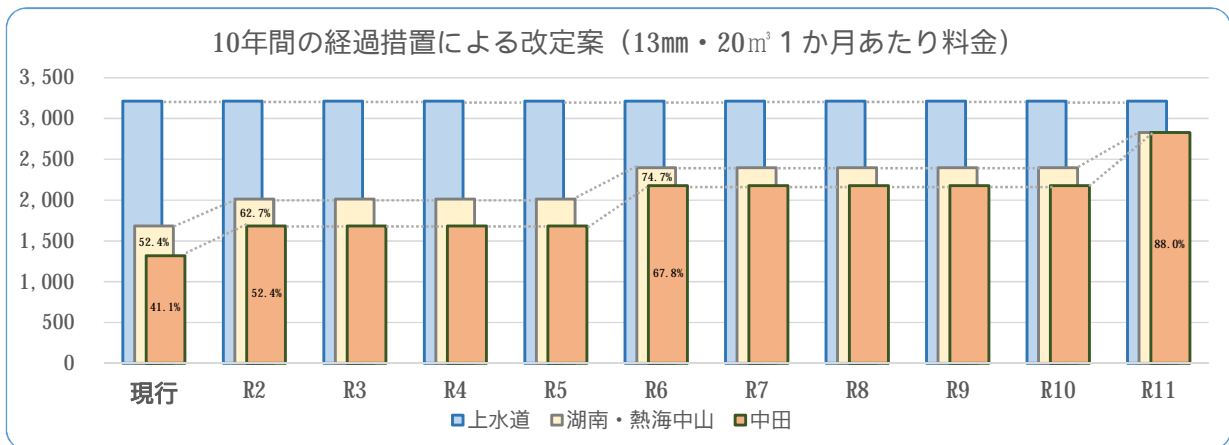


【修正後の改定内容】

- ・ 期 間：令和2年度～11年度の10年間
- ・ 経過措置：①R2～R5(4年間) ②R6～R10(5年間) ③R11
- ・ 料金水準：10年目に標準世帯（13mm・20m³）で上水道の約88%
- ・ 改定率：全地区、各段階において30%以内
- ・ 経営指標：10年目(R11)に料金回収率 101.24%（R10に地方債償還完了）

3

料金改定案の修正



	【現行】	【1段階】 R2～R5	【2段階】 R6～R10	【最終改定】 R11	【将来的に】	
湖南・熱海中山	現行料金 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 530 水量 1,000 消費税10% 153 計 1,683	現行×1.2 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 630 水量 1,200 消費税10% 183 計 2,013	第1段階×1.25 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 780 水量 1,400 消費税10% 218 計 2,398	第2段階×1.25 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 970 水量 1,600 消費税10% 257 計 2,827	上水道水準 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 1,060 水量 1,860 消費税10% 292 計 3,212	
	13mm・20m ³ 料金 改定率		19.6%	19.1%	17.9%	13.6%
	1か月あたり料金の値上額		330	385	429	385
	中田					
	現行料金 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 450 水量 750 消費税10% 120 計 1,320	湖南・熱海の現行水準 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 530 水量 1,000 消費税10% 153 計 1,683	1か月・13mm 20m ³ 準備料金 680 水量 1,300 消費税10% 198 計 2,178	1か月・13mm 20m ³ 準備料金 970 水量 1,600 消費税10% 257 計 2,827	上水道水準 1か月・13mm 20m ³ 準備料金 1,060 水量 1,860 消費税10% 292 計 3,212	
13mm・20m ³ 料金 改定率		27.5%	29.4%	29.8%	13.6%	
1か月あたり料金の値上額		363	495	649	385	

4

事業の経緯と現状

- ・ 低廉な料金体系による生活基盤としての重要な役割
- ・ 地域の諸事情等の考慮による長年の料金体系据え置き
- ・ 料金回収率の悪化と一般会計繰入金へ依存した経営
- ・ 現行の上水道料金との格差、湖南及び熱海中山地区と中田地区との格差
- ・ 施設整備時に借り入れた多額の地方債の償還、人口減少の進展等による収益の減少、施設老朽化等の問題

本市の簡易水道料金について

- ・ 本来、4年程度の算定期間において、料金収入により採算を取ることが望ましい
- ・ 料金改定による住民生活への影響を配慮すべき
- ・ 維持管理費用を最低限賄える料金収入の確保
- ・ 経営の現状、上水道との施設格差、これまでの経緯等の特性を考慮

5

料金改定について

- ・ 「経営戦略」の標準的な計画期間である10年間（R2（2020）～R11（2029）年度）を算定期間とする
- ・ 段階的な改定による激変緩和措置を講じるのが望ましい
- ・ 料金引き上げが過度の利用者負担とならないよう、料金の上限を現行の上水道料金水準の9割程度までとすべき
- ・ 「市内での広域化」を図るべく、各地区で異なる料金を最終的に統一させるべき

これからの簡易水道事業について

- ・ 常設の附属機関による経営状況や料金の継続的な審議を行うべき
- ・ 簡易水道事業の上下水道局への移管や上水道事業との経営統合等を検討すべき
- ・ 将来的に「市内水道料金の統一化」を図るべき

6